氏名	越智幸一	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	発達心理学・教育心理学・臨床発達心理学				
学位	修士（人間・環境学）				
学歴	1993年京都大学 教育学部 教育心理学科、95年京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間・環境学専攻修士課程、98年京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間・環境学専攻博士課程				
経歴	1998年旭川大学女子短期大学部助教授、2007年西オーストラリア大学心理学科客員研究員、08年旭川大学女子短期大学部准教授、09年旭川大学女子短期大学部教授、13年鎌倉女子大学短期大学部教授、18年埼玉県立大学保健医療				
所属学会（役職）	日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本特殊教育学会、日本発達障害学会、日本保育学会				

【2020年度実績】

1．研究業績

（1）著作

	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1						

（2）論文

	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	保育士への意欲が高まる実習の在り方に関する研究ー保育所と学生双方の実習に対する意識の実態からー	共著	なし		子ども・教職研究 第4巻；P.51-61	寳川雅子、越智幸一、田中君枝	2021.3

（3）学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は〇印）	発表等年月
1	該当なし				

（4）その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は〇印）	発表等年月
1	該当なし				

2．競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし			

3．教育業績

（1）講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	保育の心理学Ⅰ	〇	15	パワーポイントのスライドとビデオ資料とを有機的に組み合わせ、学生にとって子どもの発達を理解しやすい工夫をした。
2	保育の心理学Ⅱ	〇	15	さまざまな事例を用い、学生に考察してもらうようにし、より実践的な知識を身につけてもらえるよう工夫をした。
3	心理学①	〇	15	授業の最初にプレテストを実施したり、授業の最後に確認テストをするなど、小テストを活用しながら、学生の理解度を深める工夫をした。
4	心理学②	〇	15	授業の最初にプレテストを実施したり、授業の最後に確認テストをするなど、小テストを活用しながら、学生の理解度を深める工夫をした。
5	幼児と人間関係	〇	15	さまざまな事例を用い、学生に考察してもらうようにし、より実践的な知識を身につけてもらえるよう工夫をした。

（2）演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	乳児保育演習Ⅰ	〇	15	さまざまな事例についてグループワークの形式で取り組んでもらうことにより、保育現場で求められる知識やコミュニケーション能力の向上を目指した。
2	乳児保育演習Ⅱ	〇	15	子ども役、先生役、保護者役などを設定し、学生にロールプレイをしてもらうことにより、知識や技能を実際に保育現場で生かせるよう工夫した。

（3）実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習	○	2020.9	科目責任者として科目運営に携わった。
2	保育実習ⅠA		2020.4～2020.9	事前事後指導、訪問指導を行った。
3	保育実習Ⅱ		2020.4～2020.9	事前事後指導、訪問指導を行った。
4	保育実習Ⅲ		2020.4～2020.9	事前事後指導、訪問指導を行った。
5	教育実習（幼）Ⅰ		2020.4～2020.9	事前事後指導、訪問指導を行った。
6	教育実習（幼）Ⅱ		2020.4～2020.9	事前事後指導、訪問指導を行った。

（4）論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2020.11	主指導 3名	副指導 名
2	修士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
3	博士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名

（5）その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	-		

4．社会貢献活動

（1）講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	こどもと保護者の心理学入門研修	横浜市こども青少年局	こどもと保護者の心理学入門	2020.7

（2）国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事	2020.4~2021.3

（3）ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

（4）その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5．学内運営

	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	福祉子ども学専攻専攻長	2020.4~2021.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス	2020.7、2020.8
3	学科等における委員会等	保育士審査委員会	2020.4~2021.3

6．受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）

	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		

7．特許の取得

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		

8．特記事項